

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 平成26年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,147	△10.6	47	△21.4	49	△20.5	30	△17.0
26年3月期第1四半期	1,284	25.5	60	—	61	—	36	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	5.51	—
26年3月期第1四半期	6.64	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,919	—	3,230	—	—	65.7
26年3月期	5,271	—	3,268	—	—	62.0

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 3,230百万円 26年3月期 3,268百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,760	△4.2	56	△69.5	57	△69.1	32	△71.4	5.90
通期	6,007	10.1	273	△18.6	276	△19.8	164	△20.0	30.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	5,500,000 株	26年3月期	5,500,000 株
27年3月期1Q	51,196 株	26年3月期	51,149 株
27年3月期1Q	5,448,830 株	26年3月期1Q	5,448,900 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、いわゆるアベノミクスによる成長戦略の推進を背景に、緩やかながら国内景気の回復基調が続くなか、消費税率の引き上げによって一時的に落ち込んだものの、その影響は大きなものではないと受け止められております。しかしながら、円高是正による原油や原材料価格の上昇等、仕入コストの増加要因が払拭できないことなどにより、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような状況のもと当社は、前事業年度より引き続きFA装置（FA：Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）等に使用される当社主力製品「アルファフレームシステム」の大口案件を継続的に受注し、また、生産活動の海外シフトを図る自動車業界向けのFA装置やフラットパネルディスプレイ（以下、「FPD」という。）業界向けの大型カスタムクリーンブース等について受注を確保してまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は、1,147百万円（前年同期比10.6%減）となりました。利益面につきましては、営業利益は47百万円（前年同期比21.4%減）、経常利益は49百万円（前年同期比20.5%減）、四半期純利益は30百万円（前年同期比17.0%減）となりました。

なお、上記のとおり当第1四半期累計期間における売上高及び各利益は、駆け込み需要の反動等により前年同期に比べ減少いたしました。第2四半期以降に納入となる案件の受注状況は堅調であり、当第1四半期末における受注残高は、1,216百万円（前年同期比81.9%増）となっております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用し、アルミニウム合金製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。

一般の材料・部品は、前事業年度末に消費税率引き上げ前の駆け込み受注があった反動が見受けられましたが、前年同期より増加傾向となりました。しかしながら継続的な受注があるFA装置等に使用される「アルファフレームシステム」の大口案件は、生産計画の谷間となったことなどにより売上高は減少いたしました。なお、通期におきましては、前事業年度並みの受注が見込まれております。

この結果、当部門の売上高は441百万円（前年同期比36.0%減）となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、当社の技術力を活かした質の高いFA装置の提案活動を推進いたしました。前年同期では自動車部品製造企業からの大型機械設備案件がありましたが、当第1四半期累計期間は、前事業年度末の駆け込み受注の反動もあって大型物件の売上高については谷間となりました。また、他の中小規模案件やFPD業界向けクリーンブース等も同様の傾向が見受けられましたが、第2四半期以降の受注状況は順調に推移するものと見込まれております。

この結果、当部門の売上高は321百万円（前年同期比14.9%減）となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類等の消耗品関係が、前事業年度末の駆け込み受注の反動によって、期首は低調な滑り出しとなりましたが、当第1四半期後半には回復に転じ、前年同期と比較して受注は増加いたしました。なお、機械設備関係に関しては、機械部品製造関連企業向けの生産機械設備の受注が集中し、前年同期に比べ大幅な増加となりました。

この結果、当部門の売上高は384百万円（前年同期比77.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ351百万円減少し、4,919百万円となりました。これは主に、仕掛品が112百万円増加した一方で、現金及び預金が123百万円、受取手形及び売掛金が347百万円、それぞれ減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ313百万円減少し、1,689百万円となりました。これは主に、電子記録債務が62百万円、短期借入金が90百万円、それぞれ増加した一方で、支払手形及び買掛金が198百万円、未払法人税等が88百万円、設備関係支払手形が195百万円、それぞれ減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ37百万円減少し、3,230百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上があったものの、配当金の支払いが発生したことにより、利益剰余金が46百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ123百万円減少し、304百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の68百万円のキャッシュ・インに対し、当第1四半期累計期間は57百万円のキャッシュ・インとなりました。これは、税引前四半期純利益49百万円の計上、賞与引当金の増加による資金の増加額21百万円、売上債権の減少による資金の増加額357百万円などの資金の増加があった一方で、棚卸資産の増加による資金の減少額158百万円、仕入債務の減少による資金の減少額136百万円、法人税等の支払いによる資金の減少額104百万円などの資金の減少があったことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の25百万円のキャッシュ・アウトに対し、当第1四半期累計期間は198百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは、有形固定資産の取得による支出が192百万円、保険積立金の増加による支出が5百万円それぞれあったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の44百万円のキャッシュ・アウトに対し、当第1四半期累計期間は17百万円のキャッシュ・インとなりました。これは短期借入による収入が90百万円あった一方で、配当金の支払いによる支出が72百万円あったことなどが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月12日付の「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において公表いたしました業績予想に変更はございません。

※ 上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	428,239	304,273
受取手形及び売掛金	1,869,923	1,521,944
電子記録債権	145,807	134,874
商品及び製品	160,911	177,977
仕掛品	271,503	384,130
原材料及び貯蔵品	236,128	264,536
その他	64,483	55,592
貸倒引当金	△193	△159
流動資産合計	3,176,803	2,843,169
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,764,513	1,764,513
減価償却累計額	△954,919	△966,950
建物(純額)	809,593	797,563
土地	456,904	456,904
その他	667,149	633,611
減価償却累計額	△481,519	△472,547
その他(純額)	185,629	161,063
有形固定資産合計	1,452,128	1,415,532
無形固定資産	16,039	14,974
投資その他の資産		
その他	627,866	647,866
貸倒引当金	△1,650	△1,650
投資その他の資産合計	626,216	646,216
固定資産合計	2,094,384	2,076,722
資産合計	5,271,187	4,919,892

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,042,027	843,567
電子記録債務	297,566	359,872
短期借入金	—	90,000
未払法人税等	114,664	25,673
製品保証引当金	2,342	2,255
賞与引当金	46,499	68,056
設備関係支払手形	195,300	—
その他	103,315	109,749
流動負債合計	1,801,716	1,499,174
固定負債		
退職給付引当金	153,627	154,725
その他	47,638	35,681
固定負債合計	201,266	190,407
負債合計	2,002,982	1,689,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	146,100	146,100
利益剰余金	2,881,998	2,835,774
自己株式	△34,423	△34,438
株主資本合計	3,149,774	3,103,535
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	118,430	126,774
評価・換算差額等合計	118,430	126,774
純資産合計	3,268,205	3,230,309
負債純資産合計	5,271,187	4,919,892

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,284,608	1,147,935
売上原価	1,002,134	886,061
売上総利益	282,474	261,874
販売費及び一般管理費	222,462	214,731
営業利益	60,012	47,142
営業外収益		
仕入割引	951	760
固定資産売却益	—	630
その他	749	569
営業外収益合計	1,700	1,961
営業外費用		
支払利息	—	8
電子記録債権売却損	—	60
売上割引	4	—
営業外費用合計	4	69
経常利益	61,708	49,034
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税引前四半期純利益	61,708	49,034
法人税、住民税及び事業税	36,899	19,498
法人税等調整額	△11,388	△523
法人税等合計	25,511	18,975
四半期純利益	36,197	30,059

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	61,708	49,034
減価償却費	19,594	24,256
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12	△33
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,319	21,557
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,889	1,098
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1,082	△87
受取利息及び受取配当金	△226	△255
支払利息	—	8
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△630
売上債権の増減額(△は増加)	△352,686	357,181
たな卸資産の増減額(△は増加)	408	△158,101
仕入債務の増減額(△は減少)	287,625	△136,154
未払消費税等の増減額(△は減少)	34,761	△2,110
その他	6,353	5,554
小計	81,841	161,316
利息及び配当金の受取額	94	123
利息の支払額	—	△8
法人税等の支払額	△13,517	△104,404
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,419	57,027
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,419	△192,362
有形固定資産の売却による収入	—	630
無形固定資産の取得による支出	△5,582	—
投資有価証券の取得による支出	△1,200	△1,200
保険積立金の積立による支出	△5,754	△5,754
その他	△72	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,028	△198,686
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	90,000
自己株式の取得による支出	—	△14
配当金の支払額	△44,758	△72,292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,758	17,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,368	△123,965
現金及び現金同等物の期首残高	672,900	428,239
現金及び現金同等物の四半期末残高	671,532	304,273

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	447,160	64.2
装置部門	321,487	85.1
合計	768,648	71.6

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 商品仕入実績

当第1四半期累計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	品目	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
商事部門	工業用砥石	40,406	112.4
	機械設備	178,775	323.5
	工具・ツール・油脂類	115,234	120.5
合計		334,416	178.9

(注) 上記の金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

③ 受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	359,163	61.8	140,177	68.4
装置部門	303,763	50.8	704,408	219.0
商事部門	502,296	186.6	372,075	261.7
合計	1,165,223	80.5	1,216,661	181.9

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	441,807	64.0
装置部門	321,487	85.1
商事部門	384,640	177.8
合計	1,147,935	89.4

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第1四半期累計期間		
	販売高(千円)	割合(%)	前年同四半期比(%)
株式会社不二越	220,283	19.2	223.4
キャノン株式会社	148,258	12.9	35.1
田中精密工業株式会社	133,630	11.6	314.7

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。